



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

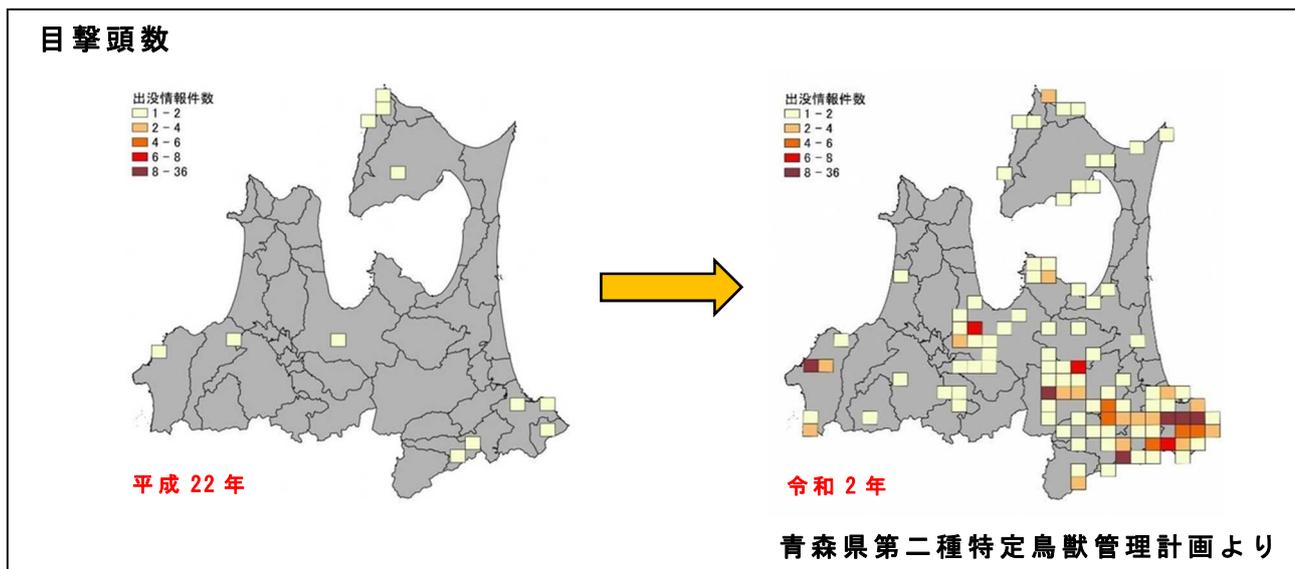
令和4年度 森林・林業技術交流発表会について

東北森林管理局では、森林・林業・木材産業の活性化等を促進するため、情報提供・意見交換会等を行い、関係者の技術の普及・向上及び交流の促進に寄与することを目的として、毎年「森林・林業技術交流発表会」を実施しております。令和2年度、3年度はリモート形式での開催でしたが、今年度は対面形式で実施しました。

当センターは、「白神山地周辺におけるニホンジカの誘引効果の比較検討」と題して発表を行いました。その概要を掲載します。

1 はじめに

全国各地でニホンジカの個体数が増加しており、農林業に大きな被害を及ぼすだけでなく、森林生態系にも深刻な影響を及ぼしています。平成22年以降毎年、白神山地世界遺産周辺地域（以下「周辺地域」という。）（青森県側）においてもニホンジカが確認されるようになったことを踏まえ、近い将来想定されるニホンジカの捕獲・駆除を行うにあたって、どのような誘引物を使用すれば効果的にニホンジカを誘引出来るのかを検討し今回の試験を行いました。

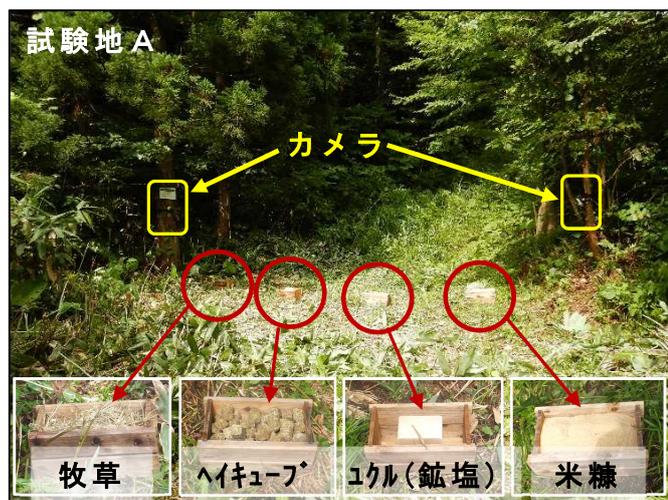


2 取組・研究方法

今回の試験では、過去に他の機関や地域で行ったニホンジカ誘引試験の結果から、嗜好性が確認され手軽に調達できる餌を選定しました。

使用した機材は熱感知式のセンサーカメラで、立木の地上 1.5m前後の高さでやや下向きに角度を付けて取り付けをし、調査地は深浦町の中・大型哺乳類調査での2試験地で、以前ニ

ホンジカが撮影され、かつ、林道から近いといった条件で選定しました。A 試験地にユクル（鉾塩）、牧草、ハイキューブ、米糠を設置し、B 試験地に牛糞を設置し、カメラのデータ回収の時に誘引物の餌の補充又は交換をし、牛糞の片方には人為的に定期的に水をかけて常に湿っている状態にし、もう片方は人為的に水をかけずに天候任せにしました。



3 結果

撮影された哺乳類は、A 試験地では、ツキノワグマ、ホンダタヌキ、ニホンアナグマ等 10 種類の哺乳類が、B 試験地ではウサギ、ホンダタヌキ、ネズミ等 10 種類の哺乳類が撮影され、両試験地ともニホンジカは撮影されませんでした。

4 考察・結論

今回の試験を考察すると、青森県全体では、ニホンジカの生息密度が高くなってきていますが、白神山地のある津軽地方では他の地域と比較すると生息密度が低い状況にあります。また、周辺には豊富な植生があることと、設置した餌が雨で腐敗しカビ等が発生したことで、餌に興味を持たなかった。更に、ニホンジカを誘引する目的で試験を実施しましたが、ツキノワグマが米糠に強く誘引されたことから、ニホンジカがツキノワグマを警戒したことも、誘引されなかった要因のひとつと考えます。

現時点で周辺地域では、ニホンジカの生息密度は低い状況ですが、徐々に増加する傾向にあることから、ニホンジカの捕獲等を確実に実施して対策を有効に機能させるため、設置場所や餌の管理を徹底して継続的に調査を実施していきます。



ツキノワグマ（子）が米糠に誘引され、戯れていると思われる写真